

「学力の三要素」と入学者選抜における「評価方法」との関係

◎：特に強く関連している

○：強く関連している

△：関連している

入試種別		評価方法	知識・技能	思考力・ 判断力・表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
総合型選抜	実技・面接方式	調査書	○		△
		実技	△	◎	○
		面接		○	○
学校推薦型選抜	指定校制 卒業生子女 併設校特別 公募制	推薦書・調査書	◎		△
		小論文	△	◎	
		面接		○	○
特別選抜	社会人 海外帰国子女	筆記試験(英)	◎	△	
		小論文	△	◎	
		面接		○	○
		書類審査	○		△
留学生	外国人留学生	筆記試験(日)	◎	△	
		実技	△	○	
		面接		○	○
		書類審査	○		△
一般選抜	全学統一方式 共通テスト利用	筆記試験	◎		
		調査書	△	△	△
	2月日程 3月日程	筆記試験	◎	○	
		調査書	△	△	△
編入学	編入学試験	筆記試験(英)	◎		
		実技	◎	◎	
		面接		○	○
		書類審査	○		△

本学科のアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるために、以下に示す選抜方法を実施する。

◆総合型選抜

- ・実技で「思考力・判断力・表現力」を、調査書で「知識・技能」を、面接で「主体的に協働する態度」を主に評価する。

◆学校推薦型選抜

- ・調査書で「知識・技能」を、小論文で「思考力・判断力・表現力」を、面接で「思考力・判断力・表現力」と「主体的に協働する態度」を主に評価する。

◆特別選抜

- ・海外帰国子女選抜および社会人選抜は、筆記試験で「知識・技能」を、小論文と面接で「思考力・判断力・表現力」を、さらに面接で「主体的に協働する態度」を主に評価する。
- ・外国人留学生試験は、筆記試験で「知識・技能」を、実技・面接で「思考力・判断力・表現力」を、さらに面接で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を主に評価する

◆一般選抜

- ・筆記試験によって、主に「知識・技能」の面について評価し、記述式問題により「思考力・判断力・表現力」を評価する。

◆編入学試験

- ・筆記試験と書類審査により「知識・技能」を、実技で「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を、面接で「思考力・判断力・表現力」と「主体的に協働する態度」を主に評価する。